



令和6年1月31日
 睦沢町立睦沢こども園
 睦沢町上之郷1736
 TEL0475-44-0050



一年で一番寒い時期です。子どもたちは、白い息を吐いて戸外で元気に走り回っています。
 2月3日(土)は「豆まき」です。豆まきは病気や災いの象徴である鬼を退治する、中国の「鬼やらい」という行事が元になったと言われています。穀物の力で鬼を追い出そうと考え、豆を蒔くようになったそうです。園でも2月2日(金)に豆まきをします。心の中の追い出したい鬼を思い浮かべながら、豆を投げたいと思います。豆まきの豆は、大豆ではなく年齢に応じて、大きさを変えて丸めた新聞紙を使用します。誤飲したり、耳や鼻に入らないようにしたりして、気をつけながら行います。

2月のねらい

0歳児・身の回りのことに興味をもち、保育者と一緒に行ってみようとする。

・保育者や友達と関わって遊びながら、簡単なやりとりを楽しむ。

1歳児・保育者に見守られながら、身の回りのことに見通しをもって、自分で行おうとする。

・保育者や友達と一緒に、簡単な言葉のやりとりをしながら、ごっこ遊びや見立て遊びを楽しむ。

2歳児・生活に必要な習慣が身につく、自分で行おうとする。

・保育者や友達との言葉のやりとりや、見立て遊びを楽しむ。

3歳児・冬の生活の仕方が分かり、自分で行おうとする。

・戸外に出て、身体を動かして遊んだり、友達とルールのある遊びを楽しんだりする。
 ・冬の自然事象に触れ、面白さや不思議さを感じたりする。

4歳児・自分なりの見通しをもって、様々な活動に取り組む。

・友達と考えやイメージを言葉や動きで伝え合いながら、自分たちの遊びや表現を楽しむ。
 ・冬から早春にかけての行事や、自然に興味・関心をもち、自分から関わって親しむ。

5歳児・生活に見通しをもち、友達と一緒に活動を進めようとする。

・修了や就学への期待をもち、必要な活動に意欲的に取り組む。
 ・季節の変化や伝統行事に親しみ、遊びに取り入れて楽しむ。



<避難するときの約束>「おかしもな」

お…おさない
 か…かけない
 し…しゃべらない
 も…もどらない
 な…なかない



<防犯の約束>「いかのおすし」

いか…しらないひとには、ついていかない
 の…こえをかけられても、くるまにはのらない
 お…しらないひとにつれていかれそうになったらおおごえをだす
 す…こえをかけられたり、おいかけられたりしたらすぐににげる
 し…こわいことにあったり、みたりしたら、すぐにおとなに知らせる



2歳児(こあら組)の姿

この1年で色々なことができるようになりました。基本的な生活習慣では、決められた場所に出ず、しまうことや自分のマークの所に下げる、置くということができるようになりました。また、汚してしまったりに不快を感じ、自分で着替え袋を取ってきて好きな服を選んで着替えられるようになりました。汚れ物も自分で裏返しをして畳み、ビニール袋に入れて手提げの中に入れてしまうようになりました。

食事面では、フォークの3点持ちができるようになる、食器を持って食べられるようになる、姿勢を正して食べるなど、マナーについても意識しながら食べられるようになってきており、毎日の食事の中で子どもたちの方から「フォークの持ち方あってる?」や「お皿は持って食べるんだよね。」などの声も聞かれています。

遊びでは、友達との関わりが多く見られるようになり、友達を誘って一緒に見立て遊びを行う姿や「オオカミさん」、「かごめかごめ」などの簡単なルールのある集団遊びを、友達や保育者と一緒に行う姿が見られるようになっています。また、片付けの場面では「手伝って〜」と呼びかけ、みんなで協力して重い物を運んだり、しまったりする姿も見られています。困っている友達を見かけると「どうしたの?」と声をかけて、教えてあげながら一緒に行っており、とても優しく友達思いな一面も見られています。

さて、4月からは年少組へ進級します。生活リズムの変化や、制服の着用など、基本的な生活習慣の自立へと向かっていきます。お子さんが園生活を楽しく過ごすために、今から準備を始めてほしいと思います。ボタンが自分でできるように、ボタンの留め外しを行ったり、着への移行がスムーズに行えるようにフォークの持ち方を再度見直したりしていただきたいです。また、登降園時には、自分の荷物は自分で持ち、抱っこではなく保護者の方と一緒に歩くなどの御協力をお願いします。

5歳児(ほし・つき組)の姿

寒さに負けず元気がいっぱい遊び子どもたち。戸外では、友達を誘い合いドッジボールや鬼ごっこをして楽しんでいます。最近では、子どもたちだけでやり取りをしながら遊びを進められるようになり、年下の友達に優しくルールを教えながら一緒に遊んだり成長した姿が見られます。

室内では、郵便ごっこに興味をもっている子どもが多く、文字への関心が高まっています。「〇〇ちゃんから手紙が届いた」と手紙を通して友達とのやり取りを楽しんでいます。また、郵便屋さんとして当番の子どもたちが毎日、各クラスに手紙を届ける仕事をしています。当番の仕事に責任をもち、張り切って行う姿がお兄さん、お姉さんらしく輝いています。

卒園まで残り2カ月となりました。就学への期待を高めながら、1日1日を大切に、思い出に残る日々を送っていきたく思います。御家庭でも、就学に向けて次の日の準備をお子さんと一緒に行う、身だしなみを整える等、御協力をお願いします。

子育てでハッピーアドバイス♥

子どもの笑顔って素敵ですよ。 「どんなにしんどくても、我が子の笑顔を見ると元気になる」とおっしゃる保護者の方が多くいます。それは、子どもも同じです。むしろ、子どもの方こそ「お家の人に笑顔でいてほしい」と思っています。 **笑顔には、相手を幸せな気持ちにする素晴らしい力が備わっています。** お子さんの笑顔がたくさん見られるようになる「コツ」をお伝えします。

◇…楽しいはずのにらめっこや、くすぐりこも「知らない人」や「嫌いな人」にされると、むしろ嫌がります。子どもは自分が認めた人との触れ合いのなかでしか、笑顔になれないのです。

◇…小さな子どもは、いわゆる「作り笑い」ができません。心の中に「楽しい」「嬉しい」「面白い」のどれかを感じないと笑えないのです。子どもはその3つのどれかを感じたときは、すぐに笑顔になります。日常の中で子どもが「楽しい」「嬉しい」「面白い」を感じる関わりを心掛けていると、いつでもどこでも笑顔が見られます。

◇…「笑顔は伝染する」とよく言われます。大人でも、よく笑う人の周りにはたくさんの笑顔があります。保護者の方がよく笑う家庭では、必ずと言ってよいほどよく笑う子どもが育ちます。「テレビを見て笑う」「友達と話すときに笑う」「子どもに笑顔で話しかける」など、何でもいので、子どもに笑顔を見せる機会を多く作りましょう。

参考文献:PHPのびのび子育て 原坂一郎(こどもコンサルタント)KANSAIこども研究所長 著

1月5日(金)に園に獅子がやってきました。獅子にかまれると、無病息災で成長することができ、1年間幸せに過ごせるとも言われています。「噛みつく」という言葉は「神付く」につながり、獅子が頭に噛みつくとき、その人には神様が付くと考えられています。0~2歳児は獅子が来ると、「怖い〜!」と泣く姿もありましたが、獅子に頭を噛んでもらって1年元気に過ごせそうです。



1月17日(水)に4・5歳児が「つどいの郷むつざわ」に園外保育にいきました。5歳児は、野菜や果物が並んでいるのを見て「袋にきれいにに入れてある。」「きれいに並べて置いてある。」など、気付いたことを言葉にしたり、友達や4歳児に教えたりする姿もありました。お店屋さんごっこをクラスで楽しんでいるので、見てきたことが遊びにつながっていくそうです。

2月の歌♪みんなで歌ってましよう

- ・ゆき(1~5歳児向き) ・ゆきのペンキやさん(0~2歳児向き)
- ・まめまき(0~5歳児向き) ・おにのパンツ(0~5歳児向き)
- ・コンコンジャンの歌(0~3歳児向き)
- ・ドキドキドン! 一年生(5歳児向き) ・一年生になったら(5歳児向き)

